



このQRコードからHPを見ることが出来ます。

TACHIBANA TIMES

令和7年7月15日発行 文責 校長 宮原 友彦

◆ 橘小メディア宣言について

現代社会において、子どもたちを取り巻くメディア環境は日々変化し、その影響は無視できないものとなっています。テレビ、インターネット、スマートフォン、ゲームなど、多様なメディアが子どもたちの生活に深く入り込む中で、私たちは子どもたちがメディアとどのように向き合い、どう活用していくべきかを真剣に考える時期に来ています。

橘小では、6月20日（金）に代表委員会において、「橘小メディア宣言」が策定されました。このメディア宣言は、子どもたちがメディアの良い面を最大限に活かし、悪い面から身を守るための指針となることを目指しています。メディアは、新しい知識を得たり、多様な文化に触れたり、創造性を育んだりするすばらしいツールになり得ます。しかし同時に、長時間利用による健康への影響、不適切な情報への接触、依存症のリスクなど、様々な課題もはらんでいる、まさに「諸刃の剣」です。この言葉は、私たちに物事の本質を見極め、責任を持って利用することの重要性を教えてください。決定した宣言は以下のとおりです。

高学年：『**メディア2時間**まで。年齢制限を守ろう。』

低学年：『**メディア2時間**まで。夜8時から使わない。』

このほかにも、デザインツール Canva でこの宣言に関するCMを作ったり、自分たちで振り返りカードを作ったりして取り組みます。本格的な取組は2学期になってからですが、自分たちのことを自分たちの代表が決める（自治）は大切な学びのひとつですね。

大人から決めつけられたルールではなく、自分たちで決めたルールはしっかりと守ってほしいですね。



◆ エンダ先生、Thanks for your kindness!!



ALTのEnda Collins Doyle先生（通称エンダ先生）が、8月に故郷であるアイルランドに帰られます。

エンダ先生は、橘小だけでなく、日見中、日見小と多くの子どもたちに外国語（英語）が楽しいということをお教えくださいました。日本語も一生懸命覚えて、私たち職員とも積極的に会話し、休み時間は子どもたちと運動場でたくさん遊んでくださいました。アイルランドに帰られたら、大学院に進学して、さらに勉学に励まれるそうです。エンダ先生のこれからの活躍を祈っています。

橘に吹く風

◆ 「橘っ子の心を見つめる教育週間」への参観や励ましの言葉、ありがとうございました。

多くの保護者、地域や関係機関の方々に来校いただき無事終了しました。5日間の教育週間で、のべ 535人（受付名簿より）以上の方が、暑い中、橘小を訪れ、子どもたちの様子をご覧になり、励ましの声を掛けてくださいました。

期間中、子どもたちは、講話や体験活動を通して、命や心について考えました。また、私たち教師もあらためてたくさんの方々のことについて、考えさせられました。昨年度から念願だった「引き渡し訓練」も無事実施することができ、大規模災害への備えもしっかりと進めることができました。ご協力ありがとうございました。

宮原のつぶやき

橘小にはすてきな宝物があります。このことを昨年度赴任して、お伝えしようとしながら、なかなか実現できなかったのですが、ようやく一部行うことができました。

それは地域の「橘小を愛してくださる方々」です。橘小のことが大好きで、どんなに暑かろうが、寒かろうが、忙しかろうが、子どもたちのために飛んで来てくださる方々です。会議の際に学校へ来られた方しか紹介できていないのですが、校長室前の掲示板に、写真・名前付きで紹介しています。

「橘小子どもを守るネットワーク」、「橘地区交通指導員」、「PTA 執行部」の皆さんです。名前を覚えて、挨拶を交わすことで、子どもたちの安全がしっかりと守られ、地域が活性化します。さながら、「橘小のアベンジャーズ」ですね。ほかにもたくさんアベンジャーズがいますので、随時紹介していきますね。

